

# 2023年度 第2四半期 決算説明資料

---

2023年11月10日  
日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

## 連結損益概要

(億円)

	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	5,509	<b>5,839</b>	330	6.0%
営業利益	▲120	<b>49</b>	169	—
経常利益	▲74	<b>58</b>	132	—
当期純利益*	▲221	<b>▲94</b>	127	—

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、価格修正の効果発現などにより、前年同期比で増収。
- 営業利益は、コストダウンの効果や製品の価格修正の寄与により、黒字に転じた。
- 特別損益は、政策保有株式などの売却に伴う投資有価証券売却益や、Opalのグラフィック用紙事業撤退損を計上。

## セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年 同期比	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年 同期比
紙・板紙	2,714	<b>2,864</b>	150	▲99	<b>39</b>	138
生活関連	2,123	<b>2,185</b>	62	▲53	<b>▲50</b>	3
エネルギー	197	<b>283</b>	86	▲19	<b>2</b>	21
木材・建材・ 土木建設関連	334	<b>362</b>	28	39	<b>52</b>	13
その他	141	<b>145</b>	4	12	<b>6</b>	▲6
合計	5,509	<b>5,839</b>	330	▲120	<b>49</b>	169

## 増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	<b>444</b>	357	—	87	—
原燃料価格	<b>▲243</b>	▲190	チップ ▲57、古紙 ▲6、パルプ ▲3、 重油 ▲4、石炭 ▲43、LNG 1、薬品他 ▲78 (価格影響 ▲119、為替影響 ▲71)	▲53	パルプ ▲17、チップ ▲5、 薬品他 ▲31
コストダウン等	<b>59</b>	56	原価改善 29、秋田・石巻停機影響 7、 労務費 14、その他 6	3	—
その他	<b>▲119</b>	▲85	海外事業 ▲21、減価償却 16、退職給付費用 7、 受払影響ほか ▲87	▲34	海外事業 ▲23、 受払影響ほか ▲11
合計	<b>141</b>	138	国内 159、海外 ▲21	3	国内 26、海外 ▲23
その他事業	<b>28</b>	エネルギー 21、木建土 13、その他 ▲6			
営業利益	<b>169</b>				
営業外損益	<b>▲37</b>	金融収支 ▲12、持分法投資損益 ▲9、為替差額 ▲7、その他 ▲9			
経常利益	<b>132</b>				

## 紙・板紙事業

(億円)

売上高			営業利益		
2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年同期比	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年同期比
2,714	<b>2,864</b>	150	▲99	<b>39</b>	138

- 国内
  - ・洋紙と板紙の国内販売数量は、需要が低調に推移し、前年同期比で減少。
  - ・チップや石炭など原燃料価格の上昇による影響はあるものの、コストダウンの効果や製品の価格修正の寄与により、黒字に転じた。
- 海外
  - ・十條サーマル(JTOy)は、欧州における感熱紙の需要が低調に推移したことと、原燃料価格上昇により、営業利益は赤字となった。

## 生活関連事業

(億円)

	売上高			営業利益			
	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年 同期比	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年 同期比	
国内	949	<b>1,036</b>	87	4	<b>30</b>	26	パッケージ 19、ケミカル ▲10 家庭紙・ヘルスケア 17
海外	1,174	<b>1,149</b>	▲25	▲57	<b>▲80</b>	▲23	Opal ▲47、NDP 23、TSP 1
合計	2,123	<b>2,185</b>	62	▲53	<b>▲50</b>	3	

- **国内**
  - ・トイレットロールやヘルスケア製品などの販売数量は増加。
  - ・機能性フィルムやティシューペーパー、液体用紙容器などの販売数量は減少。
  - ・原燃料価格高騰の影響はあったものの、製品の価格修正が寄与したことで、増収増益となった。
- **海外**
  - ・Opalは、グラフィック用紙事業の撤退に伴う販売数量の減少などにより、前年同期比で減収減益となった。
  - ・日本ダイナウェーブパッケージング(NDP)は、販売数量は減少したものの、製品の価格修正が寄与したことで、増収増益となった。

## エネルギー事業

(億円)

売上高			営業利益		
2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年 同期比	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年 同期比
197	<b>283</b>	86	▲19	<b>2</b>	21

・勇払エネルギーセンターが営業運転を開始したことや電力価格の上昇などにより、増収増益となった。

## 木材・建材・土木建設関連事業

(億円)

売上高			営業利益		
2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年 同期比	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年 同期比
334	<b>362</b>	28	39	<b>52</b>	13

・新設住宅着工戸数が減少し、原木や建材品などの販売数量は前年同期を下回ったものの、燃料チップの取扱量が増加したことなどにより、増収増益となった。

## 連結貸借対照表

	2023年3月末	2023年9月末	(億円) 前期末増減
資産の部合計	16,665	17,045	380
現預金	1,443	1,351	▲ 92
棚卸資産	2,385	2,429	44
その他流動資産	2,448	2,606	158
有形・無形固定資産	8,193	8,301	108
投資その他の資産	2,194	2,356	162
負債の部合計	12,513	12,667	154
有利子負債	9,244	9,215	▲ 29
その他負債	3,269	3,452	183
純資産の部合計	4,152	4,377	225
うち株主資本	3,037	2,943	▲ 94
負債および純資産合計	16,665	17,045	380
純有利子負債	7,801	7,864	63
調整後ネットD/Eレシオ *	2.25	2.33	0.08

\* 調整後ネットD/Eレシオ = (純有利子負債 - 資本性負債) / (株主資本 + 資本性負債)

資本性負債: ハイブリッドローンで調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額(調達額の50%)



## 連結損益概要

(億円)

	2022年度 実績	2023年度 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	11,526	<b>12,300</b>	774	6.7%
営業利益	▲269	<b>240</b>	509	—
経常利益	▲245	<b>180</b>	425	—
当期純利益*	▲504	<b>150</b>	654	—

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

■2023年度の業績予想は、5月15日に公表した内容から変更ありません。

■ただし、売上高と営業利益のセグメント別内訳は、上期の動向を勘案し、予想を見直し。

## セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2022年度 実績	2023年度 予想	前年 同期比	2022年度 実績	2023年度 予想	前年 同期比
紙・板紙	5,632	<b>6,060</b>	428	▲292	<b>160</b>	452
生活関連	4,401	<b>4,500</b>	99	▲78	<b>▲50</b>	28
エネルギー	499	<b>680</b>	181	▲17	<b>15</b>	32
木材・建材・ 土木建設関連	689	<b>750</b>	61	89	<b>85</b>	▲4
その他	305	<b>310</b>	5	29	<b>30</b>	1
合計	11,526	<b>12,300</b>	774	▲269	<b>240</b>	509

## 主要な前提条件

### ■国内販売数量(対前年)

	下期	通期
新聞用紙	▲13%	▲11%
印刷用紙	▲12%	▲12%
情報用紙	▲4%	▲5%
段原紙	▲2%	▲4%

### ■主要原材料価格、為替

	下期	前回予想(通期)
為替(米ドル)	150円/ドル	135円/ドル
為替感応度	米ドル1円円高で+9億円/年	米ドル1円円高で+10億円/年
石炭	現状の調達計画を勘案 (豪州炭ベンチマーク価格:200ドル/t)	300ドル/t (2023年3月末の在庫影響、および今後の価格変動リスクを勘案)
原油	85ドル/バレル(ドバイ)	85ドル/バレル(ドバイ)
古紙	足元の価格動向を勘案	足元の価格動向を勘案

## 増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	<b>746</b>	577	－	169	－
原燃料価格	<b>▲131</b>	▲73	チップ ▲81、古紙 22、パルプ ▲3、 重油 ▲8、石炭 84、LNG 15、薬品他 ▲102 (価格影響 68、為替影響 ▲141)	▲58	チップ▲7、パルプ ▲19、 薬品他 ▲32
コストダウン等	<b>105</b>	97	原価改善 59、秋田・石巻停機影響 11、 労務費 22、その他 5	8	－
その他	<b>▲240</b>	▲149	海外事業 ▲21、減価償却 28、退職給付費用 12、 受払影響ほか ▲168	▲91	海外事業 ▲65、 受払影響ほか ▲26
合計	<b>480</b>	452	国内 473、海外 ▲21	28	国内 93、海外 ▲65
その他事業	<b>29</b>	エネルギー 32、木建土 ▲4、その他 1			
営業利益	<b>509</b>	国内：パッケージ 29、ケミカル 7、 家庭紙・ヘルスケア 57 海外：Opal ▲46、NDP ▲21、TSP 2			

# 参考資料

---

日本製紙株式会社

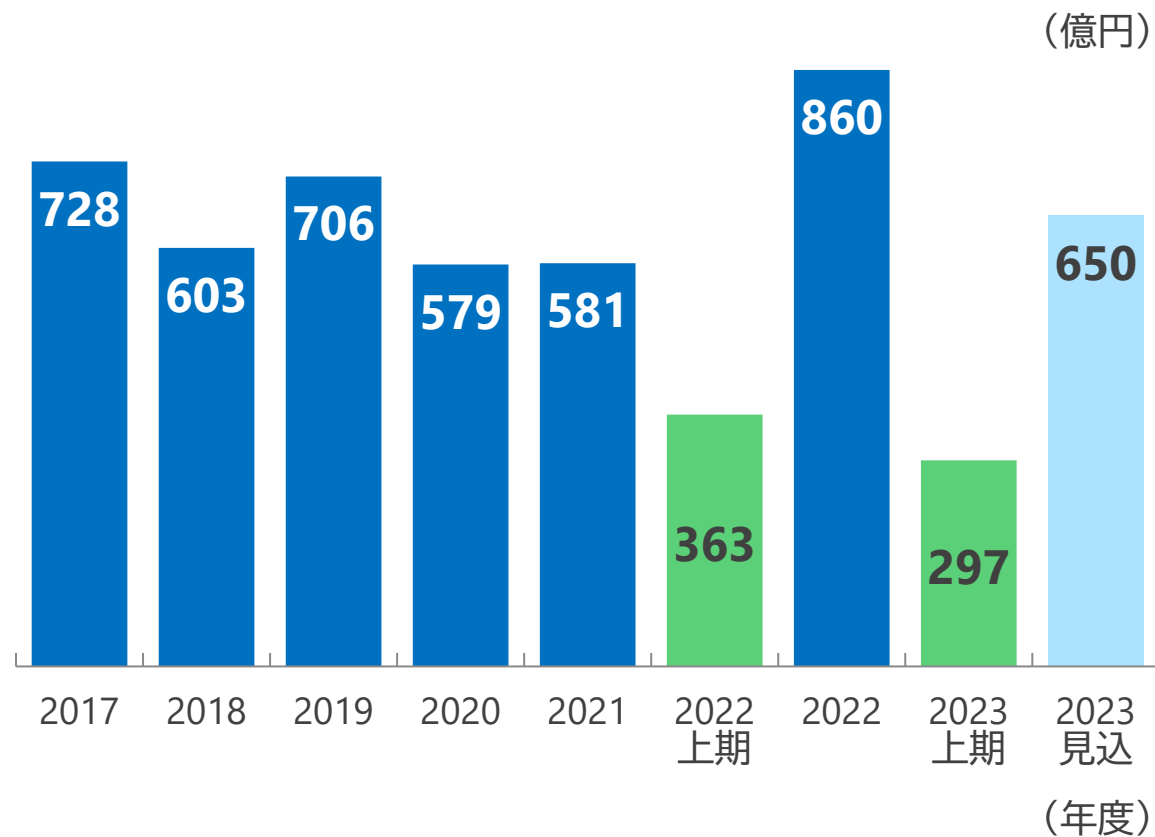


木とともに未来を拓く

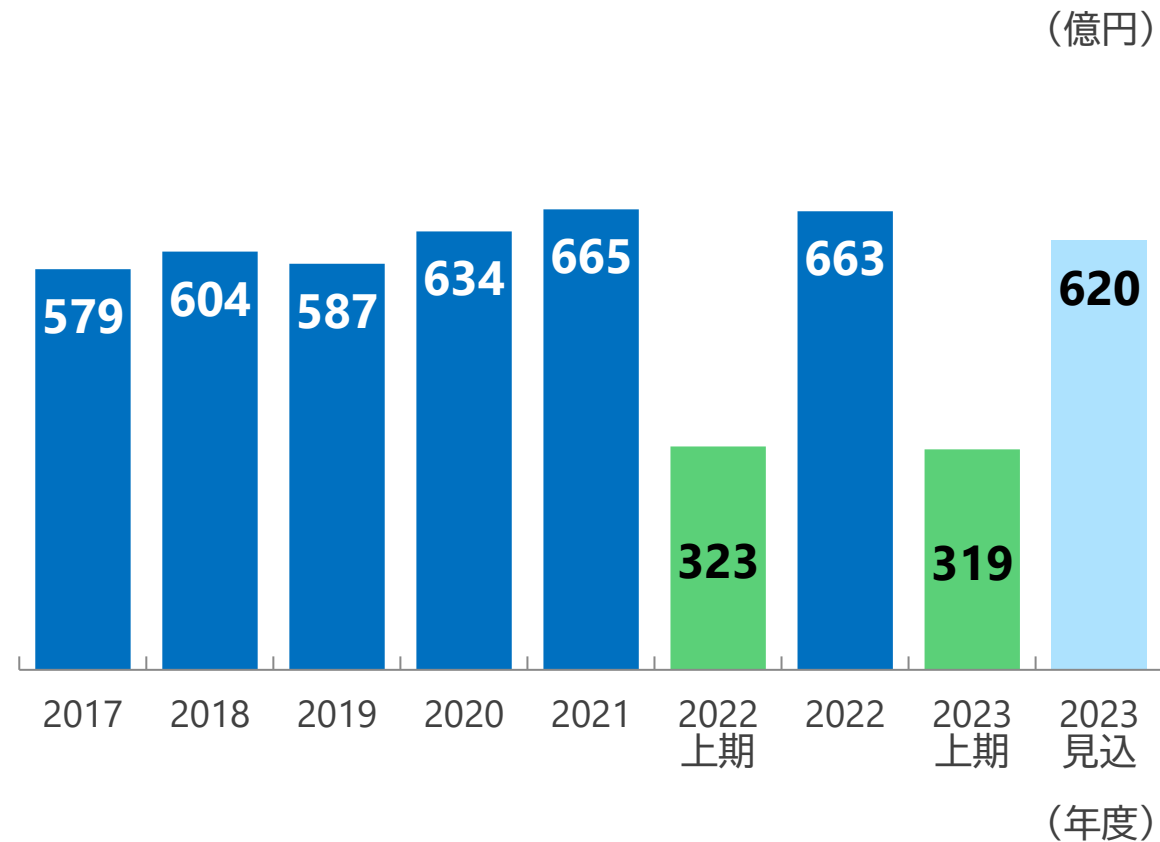
	(千t)		
	2022年度 上期	2023年度 上期	対2022
新聞用紙	300	270	▲9.8%
印刷用紙	531	471	▲11.3%
情報用紙	202	188	▲7.0%
その他	157	144	▲8.5%
国内	1,190	1,074	▲9.8%
輸出	118	79	▲32.4%
<b>洋紙 合計</b>	<b>1,308</b>	<b>1,153</b>	<b>▲11.8%</b>
段ボール原紙	833	786	▲5.6%
紙器用板紙他	161	159	▲1.5%
国内	994	945	▲4.9%
輸出	90	57	▲36.4%
<b>板紙 合計</b>	<b>1,084</b>	<b>1,003</b>	<b>▲7.5%</b>
<b>洋紙・板紙 合計</b>	<b>2,392</b>	<b>2,156</b>	<b>▲9.9%</b>

\* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計(衛生用紙除く)

## 設備投資額\*



## 減価償却費



\*建仮計上ベース

(億円)

	2022年度				2023年度		2023年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	上期実績	下期予想
紙・板紙	1,320	1,394	1,448	1,470	1,433	1,431	2,864	3,196
生活関連	1,010	1,113	1,162	1,116	1,068	1,117	2,185	2,315
エネルギー	82	115	125	177	137	146	283	397
木材・建材・ 土木建設関連	167	167	174	181	167	195	362	388
その他	69	72	76	88	69	76	145	165
合計	2,648	2,861	2,985	3,032	2,874	2,965	5,839	6,461



(億円)

	2022年度				2023年度		2023年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	上期実績	下期予想
紙・板紙	▲22	▲77	▲121	▲72	2	37	39	121
生活関連	▲26	▲27	▲13	▲12	▲23	▲27	▲50	0
エネルギー	▲3	▲16	▲3	5	5	▲3	2	13
木材・建材・ 土木建設関連	19	20	24	26	23	29	52	33
その他	3	9	5	12	1	5	6	24
合計	▲29	▲91	▲108	▲41	8	41	49	191

## 紙・板紙の国内出荷高と輸出入(2023年度 上期)

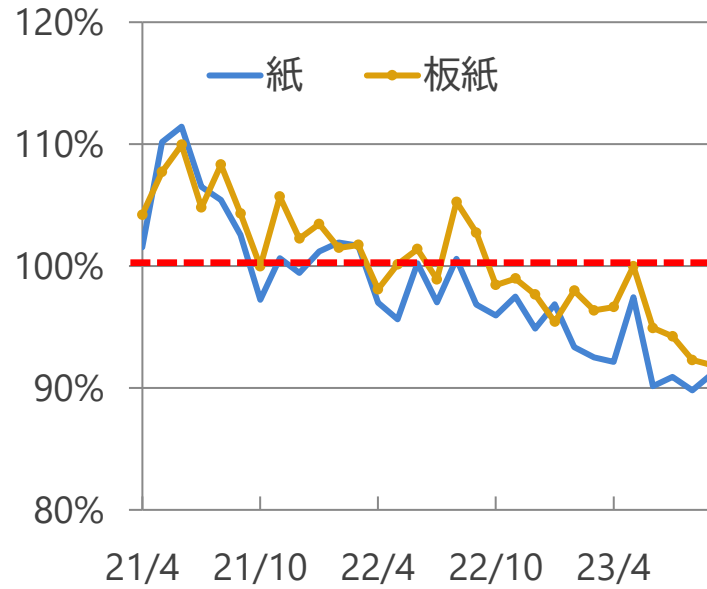
(千t)

	国内出荷高		輸出		輸入	
	数量	対2022	数量	対2022	数量	対2022
新聞用紙	827	▲9.4%	0	—	1	18.2%
印刷・情報用紙	2,454	▲8.9%	210	▲21.7%	263	▲1.5%
塗工印刷用紙*	1,310	▲8.6%	160	▲19.9%	57	63.1%
非塗工印刷用紙	644	▲10.4%	39	▲29.1%	5	▲42.6%
情報用紙	500	▲7.4%	11	▲17.3%	201	▲10.1%
その他	1,454	▲6.1%	114	▲19.6%	20	▲21.8%
紙 合計	4,735	▲8.1%	324	▲21.0%	284	▲3.3%
段ボール原紙	4,355	▲5.1%	350	▲33.8%	10	▲59.7%
紙器用板紙他	984	▲4.7%	20	▲33.3%	108	▲16.7%
板紙 合計	5,339	▲5.1%	370	▲33.8%	119	▲23.8%
紙・板紙合計	10,074	▲6.5%	694	▲28.4%	403	▲10.4%

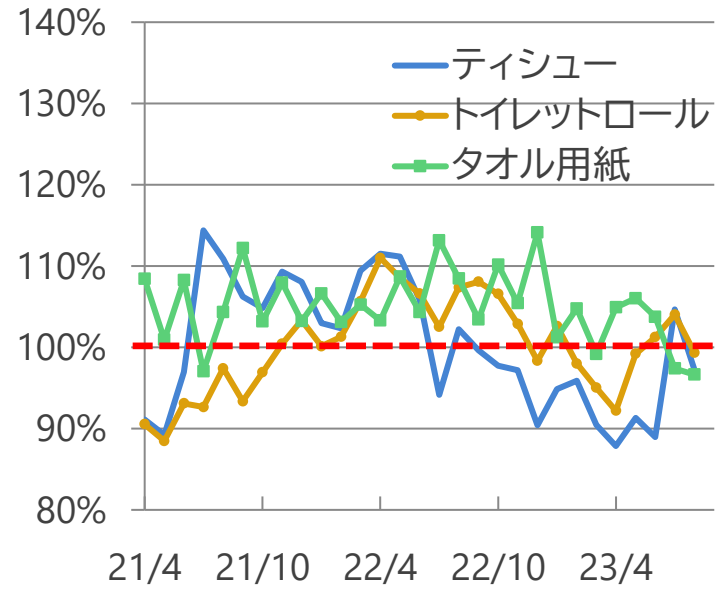
\*塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

出所:日本製紙連合会、財務省貿易統計

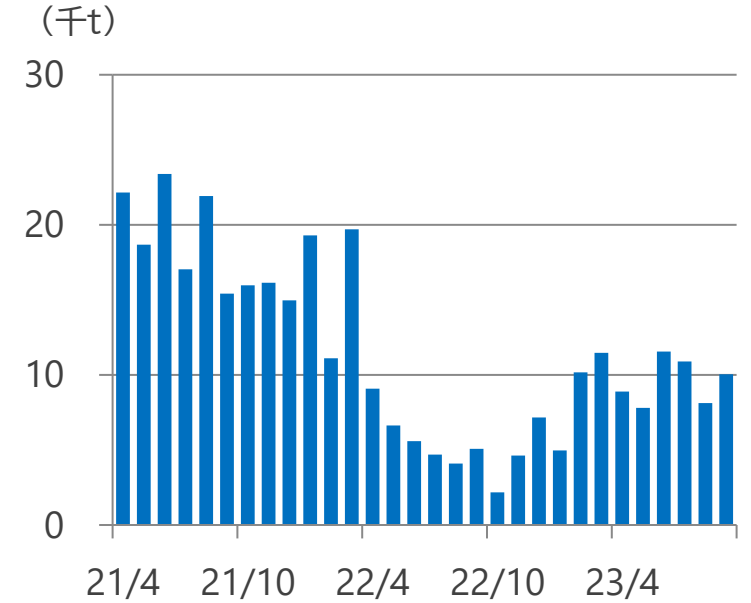
## メーカー国内出荷量(対前年)



## 衛生用紙生産高(対前年)



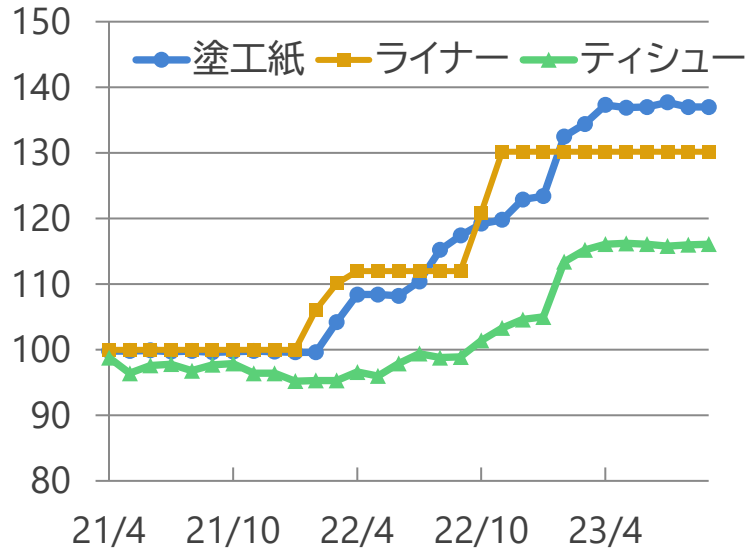
## 塗工紙輸入推移



出所: 日本製紙連合会、経産省生産動態統計、財務省貿易統計

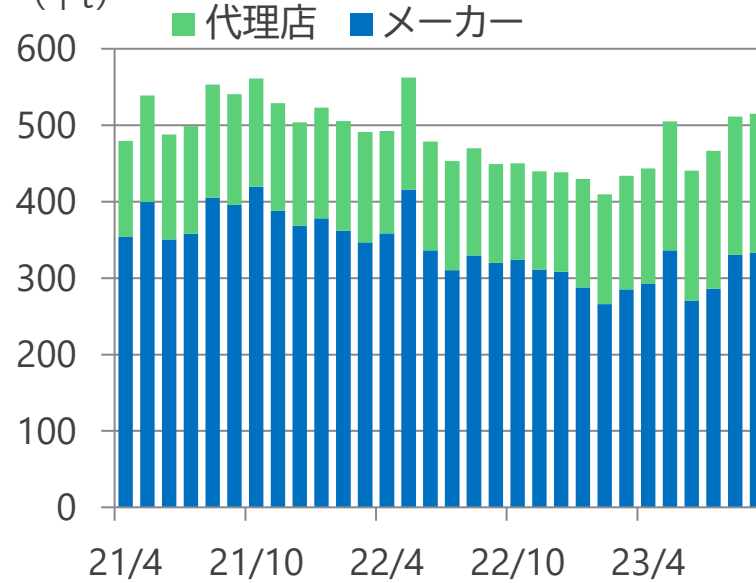
## 品種別価格動向

(2020年 = 100)



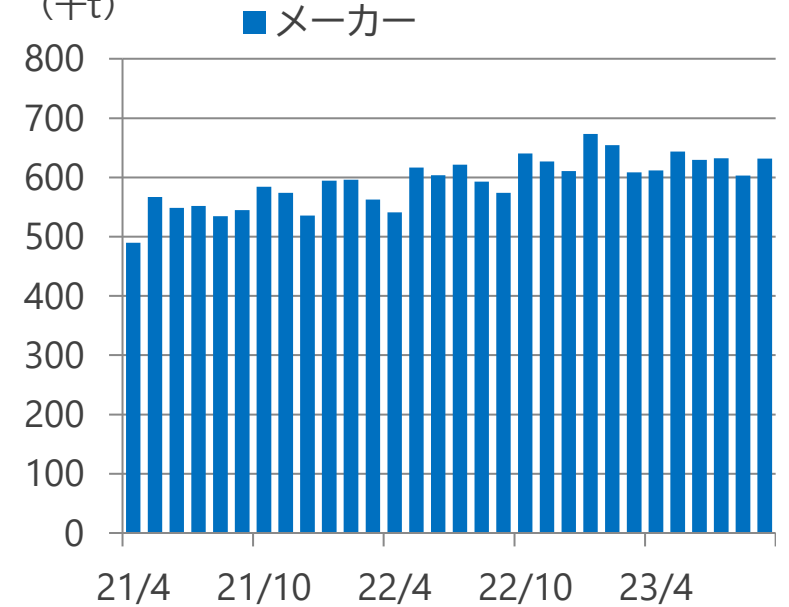
## 塗工紙在庫高推移

(千t)



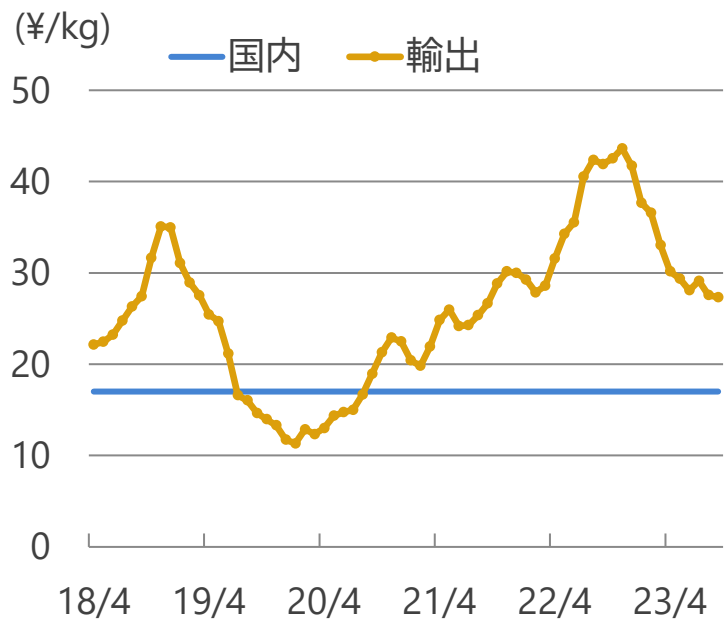
## 段原紙在庫高推移

(千t)

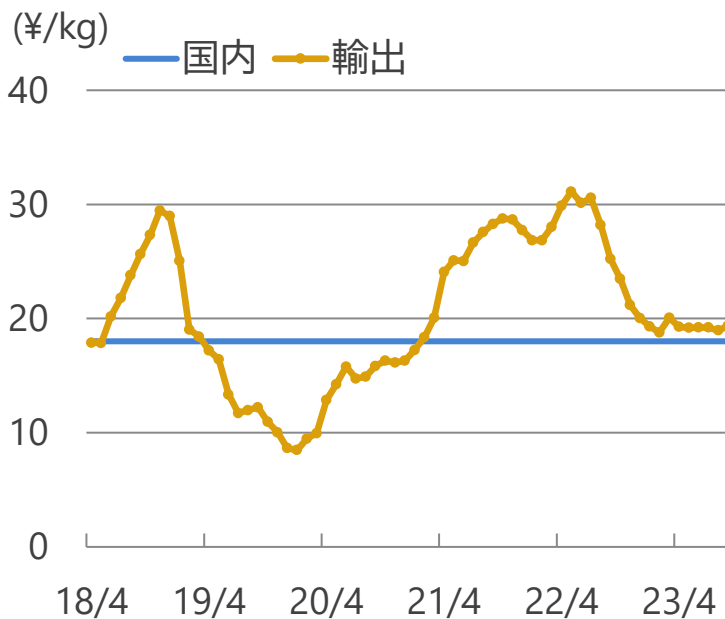


出所: 日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

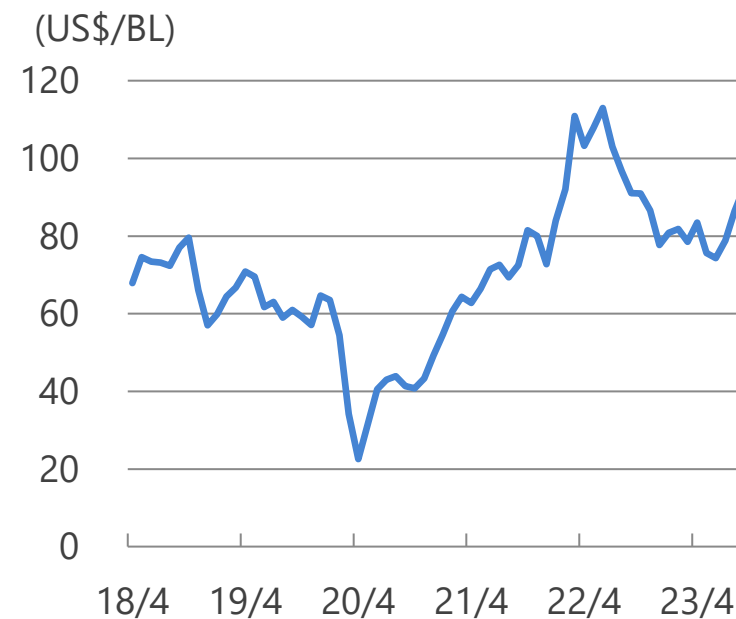
## 新聞古紙



## 段ボール古紙



## 原油



出所:古紙再生促進センター、財務省貿易統計、日本経済新聞

# 日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

## <注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

## 日本製紙株式会社